

経営比較分析表（令和4年度決算）

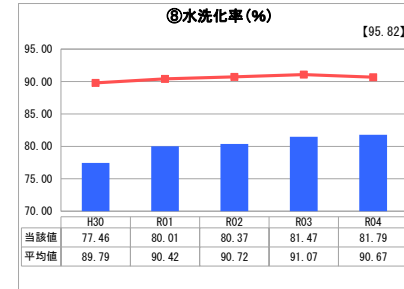
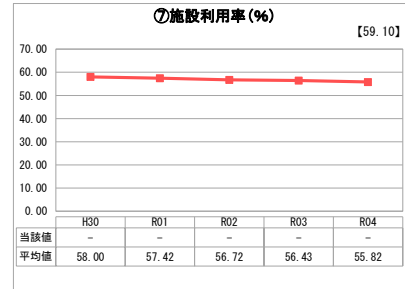
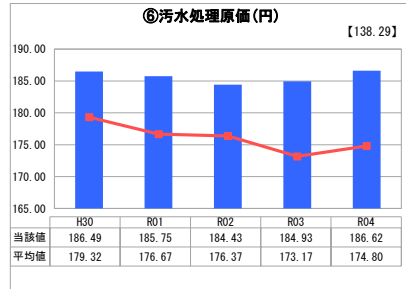
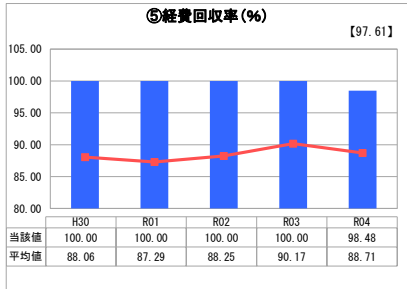
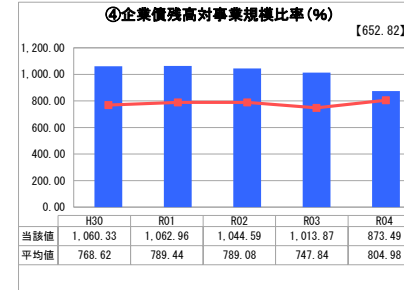
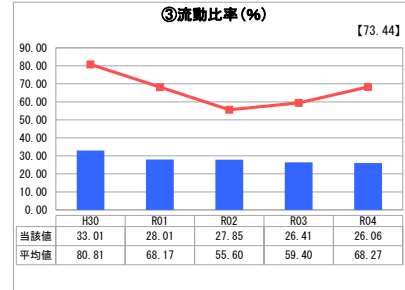
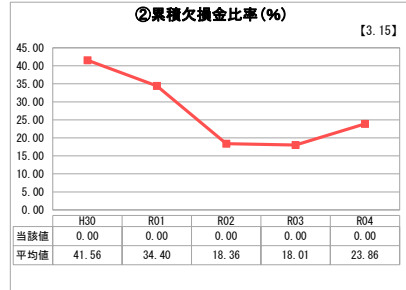
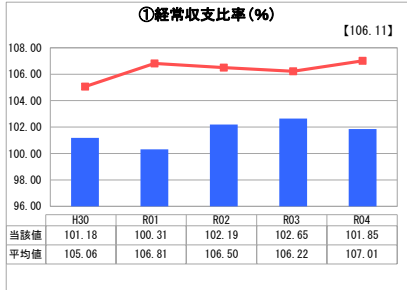
青森県 藤崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.75	47.81	78.32	3,626

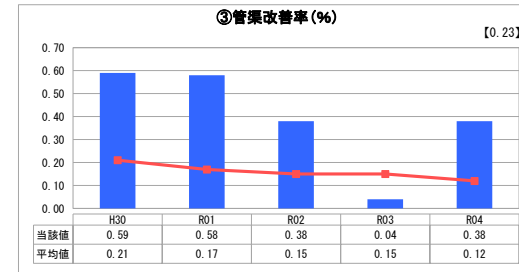
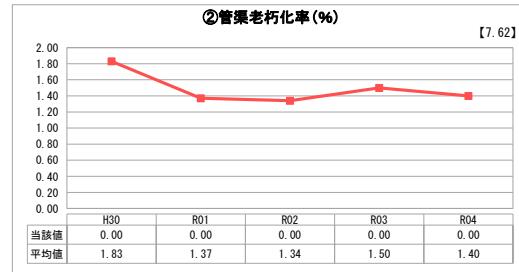
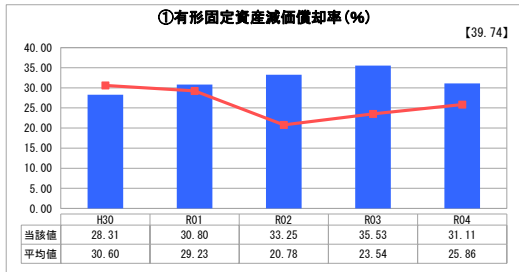
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,578	37.29	390.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,942	2.75	2,524.36

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率について、平成28年から令和元年にかけて右肩下がりがあったが、経費削減等の効果もありようやく改善の兆しが見え始めたところです。また、地方公営企業会計制度の見直し移行、流動比率は低い状況にあるが、経費回収率や汚水処理原価は比較的良好であり、累積欠損金も発生しておらず、過度に老朽化した管渠も存在しないことから、今日現在において経営上の喫緊の問題点は存在しないと考えます。

しかしながら、平成28年度以降、企業債務高対事業規模比率が類似団体平均値と比較して高い傾向が継続しており、加えて今後の更なる人口減による使用料収入の減少や設備の老朽化等に伴い、その他の経営指標も悪化するとの推計されることから、各種業務の包括的な民間委託や事務の広域化などを検討し、効率的な経営を目指していく必要があります。

2. 老朽化の状況について

現時点で耐用年数を過ぎた管渠等は存在しないが、雨水・浸水対策として雨水管の更新投資を行っており、管渠改善率に表れてきています。また、汚水管については、ある程度の老朽化した管渠が存在することから定期的なカメラ調査等を行っており、それらを踏まえたうえで更新計画を策定し、効率の良い更新を検討していく予定です。

全体総括

現時点では経営状況や施設の老朽化等に大きな問題点はないものの、平均と比べても低い状況にある水洗化率を向上させるための啓蒙活動や、適切な使用料徴収、包括的な民間委託、事務の広域化、そしてより一層の経費削減等に努める必要があります。加えて今後の経営を安定させるため、適正な料金収入の算定・改定を行い、経営改善を図っていく必要もあると考えます。

また、老朽化してくる管渠の更新を効率的に実施するため、下水道ビジョン等の計画の策定を検討するとともに、計画的な経営戦略の見直し・改定を実施していく予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。